

# 2050年にありたい姿の実現に向けて

ULVACは、経営基本理念に基づき、「2050年にありたい姿」を定めています。

また昨年度、10年後の理想像として「Vision 2032」を策定し、2050年にありたい姿及びVision 2032の実現に向けたULVAC固有の経営課題である「マテリアリティ」を特定しました。

この度、こうした中長期的な理想像の実現に向けて、バックキャストで2023年度～2025年度の中期経営計画を策定しました。

当計画の達成を通じ、2050年にありたい姿の実現に向けて取り組んでいきます。

バックキャスト

## 2050年にありたい姿

**真空技術で**  
世の中のためになる価値を  
パートナーとともに生み出し、  
人と地球の未来に  
貢献し続けている企業

経済成長・  
社会的豊かさ

最先端の技術開発で  
より安全・安心、  
かつ豊かで便利な社会  
の実現に貢献する

人の幸せ

すべての人が幸せな  
生活を送るための  
社会づくりに貢献する

環境

地球にやさしく  
持続可能な社会  
づくりに貢献する

## Vision 2032

未来につながる  
「可能性の場」で  
あり続ける

「可能性の場」とは、「一人ひとりの心の余白」を意味しています。心の中に余白の部分を持つことで、私たちは外の世界から多くのことを吸収できます。それを糧として、未知のことに挑戦し新しい何かを生み出すことができます。これは一人ひとりが自分自身の心の中に「可能性の場」を意識することから始まります。そのような人財のエネルギーが集まったULVACも「可能性の場」となり、それが持続可能な未来に貢献する真空技術をコアとしたイノベーションの創出や共創につながると考えています。

## 中期経営計画 (2023年度～2025年度)

詳細 ▶▶ P.26 新中期経営計画

### 基本方針

- 真空技術による社会的価値創造
- 利益・資本効率重視の経営

### 重点戦略

- 成長事業における製品競争力の強化
- グローバル生産性の向上
- 経営基盤の強化

### 数値目標

- 売上高 3,000億円
- 売上総利益率 35%
- 営業利益(率) 480億円(16%)
- ROE 14%
- 営業CF(3年間累計) 630億円

## 中期経営計画 (2020年度～2022年度)

詳細 ▶▶ P.25 前中期経営計画の振り返り

### 基本方針

- 成長に向けた開発投資(選択と集中)
- 体質転換による利益重視の経営

### 重点戦略

- 成長事業の強化・研究開発力の強化
- モノづくり力強化
- グループ経営効率強化
- 経営基盤の強化

### 数値目標

- 売上高 2,100億円
- 売上総利益率 35%
- 営業利益率 16%
- ROE 13%
- 営業CF 290億円

フォアキャスト

## マテリアリティ 詳細 ▶▶ P.35 マテリアリティに関する取り組み

真空技術をコアとした  
イノベーションの  
創出・共創の推進

多様な人財の育成と  
活躍推進・レジリエントな  
組織づくり

バリューチェーン  
における人権尊重・  
責任ある行動

持続可能な  
地球環境への貢献